

災害関連・復旧等に対する経費

9月補正予算 → [71 億 7,700 万円]

令和2年7月豪雨災害は、甚大な被害があり、迅速な復旧が必要。9月補正予算にて、災害復旧に必要な経費として約71億円を計上。内訳は、公共土木施設(道路・河川・砂防施設等)等の復旧に約56億円、農林関係の災害復旧経費等に約16億円。



山岳部の土砂崩れ



豪雨による河川の流木堆積



住宅地の急傾斜土砂崩れ

新型コロナ対策と合わせて、万全の支援を要望する！

要望

7月豪雨災害は県内広域にわたり様々な被害があり、まだその復旧は完全ではない。その後、台風9号・10号が襲来した。新型コロナ対策と合わせて、万全の支援を要望する。

妊産婦の出産への安心確保対策

9月補正予算 → [4 億 4,500 万円]

本事業は、令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた新生児を対象に、特別給付金を支給する市町へ2分の1(一人当たり10万円:長崎県5万円+各市町5万円)を補助する事業。申請窓口は市町。県内全市町におい実施予定。



地域の子育て支援センターさんと意見交換



長崎県子ども家庭課を表敬訪問

今、孤独を感じている妊産婦さんが多い

要望

この支援は、妊産婦さんを支援したい市町を後押しする、県の素晴らしい取組み。例えば、長崎県小値賀町「おなかの赤ちゃんは島の宝」の様な、メッセージも添えていただき「寄り添っていること」を伝えていただきたい。



活動報告 長崎大学・熱研にて、西村康稔大臣との意見交換会に出席！



LAMP法検査機開発、コスタ・アトランチカ号集団感染、健康管理アプリN-CHAT、ネルフィナビル(治療薬開発)など意見交換。西村大臣は大変気さくな方で、BSL-4施設について、個人的に少しお話しする事ができました。

+PLUS 想いをつなぐ。

下条 博文 県政レポート
Vol.13【2020年秋号】

長崎県議会
予算決算委員会

総括質疑

令和2年度9月補正予算 285 億 3,600 万円

1. 令和2年9月補正予算総括

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策
[211 億 7,200 万円]
- (2) 災害関連・復旧等
[71 億 7,700 万円]
- (3) その他緊急を要する経費
[1 億 8,700 万円]

2. 健康管理アプリ(N-CHAT)の提供

- [500 万円]
- (1) 取組みの概要
- (2) 想定される効果
- (3) データ・サイエンス(科学)の利活用

3. 妊産婦の出産への安心確保対策

- [4 億 4,500 万円]
- (1) 安心確保対策の概要
- (2) メッセージ性



長崎県議会議員(自由民主党)長崎市選出

しもじょう ひろふみ

下条博文

※写真は7月豪雨災害現地視察

9月議会にて自民党会派
を代表して予算総括質疑
を行いました。令和2年9月24日

災害復旧・健康管理アプリN-CHAT・妊産婦支援など3項目

<http://shimojo007.com>

下条博文 検索

自民党 しもじょう ひろふみ
下条博文

ホームページ



公式アプリ【インストール】をお願いします! ダウンロードは無料! ほぼ毎日情報配信

<http://shimojo007.com>

下条博文 検索

しもじょう ひろふみ
下条博文 事務所
〒852-8131 TEL: 095-844-7769
長崎市文教町 5-17 FAX: 095-844-6278

iPhoneの方はApp Store(アップストア) / Androidの方はGoogle Play(グーグルプレイ)



令和2年度9月補正予算のポイント 補正予算編成の柱

◆ 一般会計補正予算 285 億 3,600 万円

主な歳入予算・国庫支出金 145 億 5,800 万円（うち臨時交付金（単独）74 億 9,400 万円）・諸収入 103 億 8,900 万円
 ※新型コロナウイルス感染症対策予算累計 1,071 億 6,200 万円（令和元年度 4 億 3,400 万円含む）

- 1 新型コロナウイルス感染症対策に要する経費 〔211 億 7,200 万円〕
- 2 災害関連・復旧等に要する経費 〔 71 億 7,700 万円〕
- 3 その他緊急を要する経費 〔 1 億 8,700 万円〕

1 新型コロナウイルス感染症対策に要する経費〔211 億 7,200 万円〕

感染予防・拡大防止対策のさらなる強化

① PCR検査機器等の整備（6,900 万円）
 [内容] PCR 検査機器 3 台、LAMP 法検査機器 9 台等の導入

< 1 日あたり検査可能件数 >

現在（拡充予定含む） 約 2,000 件/日 → (整備後) 約 2,500 件/日

② 胸部 X 線検診車の整備 1 億 1,000 万円〔県独自〕
 [内容] 胸部 X 線検診車（2 台） ※写真はイメージです。



その他の主要な施策(抜粋)

○重症患者対応医療機関等の設等支援	11 億 3,900 万円	○ICT 利活用のためのデジタル化等の推進	900 万円
○新型コロナ感染症スクリーニング対策費	7 億 3,800 万円	○県立高校 1 人 1 台パソコンの整備	16 億 6,000 万円
○長崎大学ワクチン開発研究への支援	1,000 万円	○私立学校人 1 台パソコンの整備	2,200 万円
○誹謗中傷等に、対する支援体制整備	1,600 万円	○介護・障害者施設 ICT・ロボット	3 億 3,200 万円
○医療従事者等への慰労金	6 億 6,900 万円	○緊急資金繰り支援資金拡大	1,02 億 6,000 万円
○健康管理アプリの提供	500 万円	○交通事業継続への支援	1 億 3,100 万円
○介護施設への陰圧装置・換気整備支援	3 億 1,400 万円	○事業承継の加速化支援	2 億 5,000 万円
○介護施設用のマスクや消毒液等の備蓄	2 億 300 万円	○製造業の生産性向上等への支援	18 億 2,000 万円
○介護施設への非常用自家発電整備支援	7,500 万円	○食料品製造業の新たな需要獲得支援	6,000 万円
○妊産婦の出産への安心確保対策	4 億 4,500 万円	○水産物の輸出拡大に向けた取組支援	3,600 万円
○聴覚障害児への支援体制の強化	1,500 万円	○個人旅行集客に向けた研修会等の実施	1,400 万円
○宿泊施設、安全・安心・快適化の促進	6 億 0,000 万円	○ご当地グルメ開発支援	1,900 万円
○安心・安全な買い物環境の整備	2 億 0,000 万円	○県産品ネット販売拡大	1 億 1,800 万円
○衛生管理等体制の整備支援	1,200 万円	○離職者雇用支援	2 億 1,600 万円

2 災害関連・復旧等に要する経費〔71 億 7,700 万円〕

○令和 2 年 7 月豪雨災害関連・復旧事業(71 億 7,300 万円) ○養殖アワビ被害への支援(200 万円) ○被災農業者の営農再開支援(200 万円)

主な被害

- 【道路】 国道 202 号の被災 (長崎市) 【山地】 善住寺地区の山腹崩壊 (諫早市)
- 【河川】 郡川・佐奈河内川の被災 (大村市) 【山地・道路】 白石地区の山腹崩壊 (平戸市)
- 【砂防】 牧の地地区の地すべり (佐世保市)



データ・サイエンス(科学)で感染拡大を抑える!

9月議会(令和2年9月24日11:00ごろ本会議場にて)自由民主党会派を代表して予算決算委員会にて総括質疑を行いました。
 【災害復旧・健康管理アプリ N-CHAT・妊産婦支援など 3 項目】

健康管理アプリ(N-CHAT)の提供

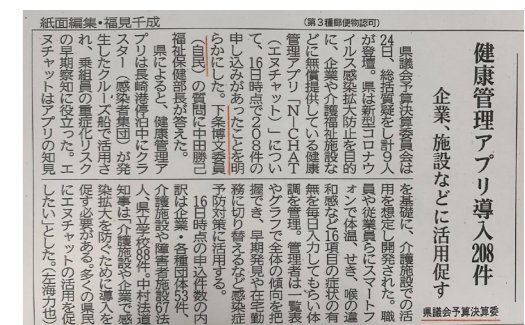
9月補正予算 → [500 万円]



質問 1. 取組の概要 / 2. 想定される効果 / 3. データサイエンス利活用

ご答弁 【中村知事】コスト・アトランチカ号、大規模クラスターが発生時に長崎大学が開発した健康管理アプリによって、重症化の予防や感染拡大防止につながった。その後、県独自の健康管理アプリ N-CHAT を開発。感染拡大防止のため、多くの県民に活用を促したい。

【福祉部長】9/16時点での申込みは、企業や各種団体から53件、介護施設や障害者施設が67法人277事業所、県立学校が88件。感染症への早期対応や、保健所の業務負担軽減など、実益的で有効な効果が見込める。



翌日の長崎新聞に質疑内容が掲載されました。

N-CHAT は、他県にはない先駆的な取組(デジタルフォーメーション) 科学的データにより、感染拡大防止と安心を提供できる!

要望 デジタル庁など、国において行政のデジタル化が進むなか、N-CHAT は先駆的な取組。感染拡大防止だけでなく、蓄積された科学的データ(デジタルトランスフォーメーション)を「会見」などで用いれば、より説得力を増す!

長崎県での健康管理アプリの活用について(画面イメージ)

個人の入力画面
 スマホからチャット形式で咳、鼻水、吐き気、味覚や嗅覚異常など入力。

管理画面 全体の状況が「見える化」↓

導入前(従来)

- 対応が遅れる
- 現場負担軽大
- データ分析なし

N-CHAT導入

- 早期対応!
- 現場負担軽減!
- データ分析!

データの活用

データ化(データ・サイエンス)